

外装ルーバー『格子ユニット』 バリエーション追加
『格子ユニット ルポウッドタイプ』
◇ 2022年6月1日発売 ◇

セイキ販売株式会社（東京都練馬区、代表取締役社長：守谷将人）は、2022年6月に優れた木質感を持つ人工木材「ルポウッド（REPOS WOOD）」を使用した外装ルーバー「格子ユニット ルポウッドタイプ」を発売します。

「格子ユニット」は建物の玄関や外壁などに設置し、目かくし効果や外観デザインのアクセントにする外装ルーバーで、格子材と胴縁をユニット化することで現場での省施工が図られている商品として高い評価を得ています。

「格子ユニット」は「合成木材タイプ（*）」と「アルミ・アルミラミネートタイプ」をバリエーションとして揃えていましたが、2020年に人工木ウッドデッキとして優れた木質感と耐久性がある「ルポウッド」を発売し好評により、2021年には「デッキフェンス」に「ルポウッドタイプ」を追加し、今回は「格子ユニット」への展開を広げることで、セイキエクステリア商品のトータルコーディネートを図っていく考えです。

セイキ販売は、人工木ウッドデッキ「ルポウッド」と自社のデッキ下地システムとの組み合わせで、保育園・幼稚園をはじめ、宿泊施設、商業施設、公園など順調に採用が図れており、「格子ユニットルポウッドタイプ」も同様に施設物件を中心に商品提案を行っていく考えです。

（*）「ルポウッドタイプ」の発売により「合成木材タイプ」は2022年9月で受注廃止としますが、「合成木材部材」の従来アイテムは継続して販売します。



「格子ユニット ルポウッドタイプ」の特長

○天然木のような風合いと高い耐久性、耐腐朽性

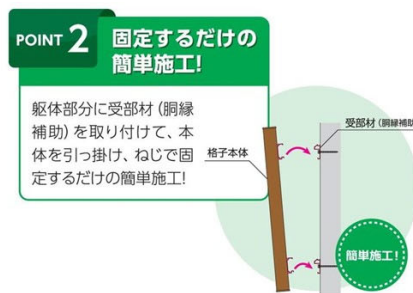
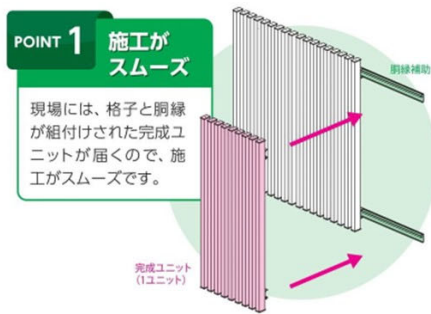
ルポウッドの格子材は温もりがある自然な木質感を再現し、心地よい癒し空間を演出。また天然木に比べ耐候性・耐久性が高く経年による色あせや腐食も起こりにくく、シロアリの食害にも強い素材となっています。

○ルポウッドとアルミ製補強材の複合構造により 格子強度を向上

ルポウッドの格子材は中空になっており、アルミの補強材を挿入し複合構造とすることで、温もりがある意匠としながらも、十分な強度を確保しています。

○高い運搬性・施工性

格子材と胴縁を完成品ユニット化し、更に1ユニットの重量を凡そ20kg以下にすることで現場での運搬や施工の負担を軽減しています。

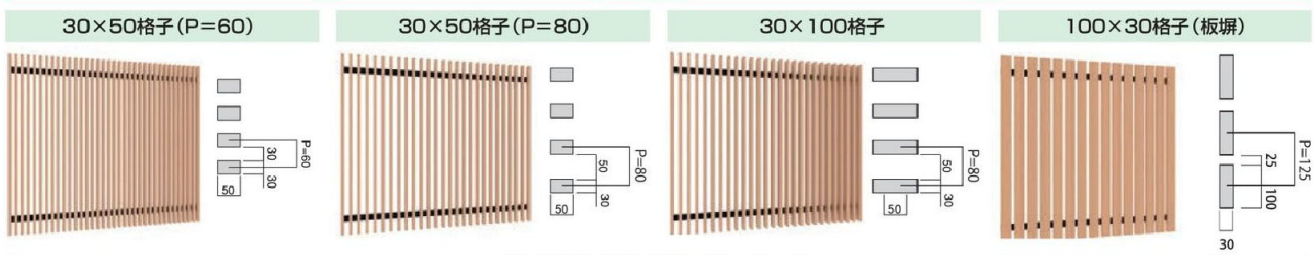


○商品バリエーション

ユニットタイプ：縦格子 [壁付タイプ、壁内タイプ、玄関タイプ、独立タイプ]

横格子 [壁付タイプ、壁内タイプ、玄関タイプ、パルコニータイプ]

格子寸法：30×50 (格子ピッチ 60mm)、30×50 (格子ピッチ 80mm)、30×100、100×30 板塀



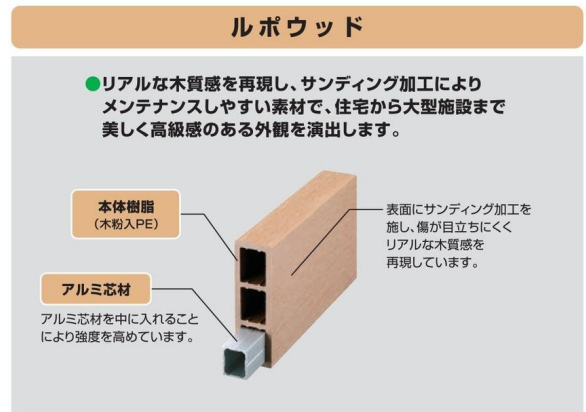
○色バリエーション

サンドブラウン (SB)、チャコールブラウン (CH)

○参考価格

縦格子壁付けタイプ 30×50 (格子ピッチ 80mm)

W910mm×H2300mm 132,700円



本件に関するお問い合わせ先

セイキ販売株式会社 営業企画推進室 相楽・佐々木
 TEL:03-5999-5825 FAX:03-3992-8578 Mail:info@seiki.gr.jp
 〒176-0014 東京都練馬区豊玉南 3-21-16